

自然科学研究機構基礎生物学研究所「メダカ」バイオリソース運営委員会（平成24年度）
議事要旨

日 時：平成24年12月21日（金）14：00～16：20

場 所：基礎生物学研究所 1階 会議室

出席者：山下（北海道大学）、酒泉（新潟大学）、近藤（大阪大学）、武田（東京大学）、
谷口（慶應義塾大学）、日比（名古屋大学）、丸山（放射線医学総合研究所）、
三谷（東京大学）、長濱（愛媛大学）、山崎（遺伝学研究所）、仁科（東京医
科歯科大学）、成瀬（基生研）、上野（基生研）、高田（基生研）

オブザーバー：井上（東京大学大気海洋研究所）、亀井（基生研）、田中（基生研）

陪席者：森脇（NBRP推進委員）、佐藤（NBRP事務局長）、平田（NBRP事務局）、佐
藤（新潟大学）、竹花（基生研）、笹土（基生研）、吉村（基生研）、浜谷（基生
研）、鈴木（基生研）、
渡邊（新潟大学）、野城（新潟大学）、野田、小川、佐藤、糸（岡崎統合事務セ
ンター）

議事に先立ち、山下運営委員会委員長から挨拶があった。

（報告事項）

1 第3期NBRP平成24年度活動報告について

・基礎生物学研究所（中核機関）

成瀬副委員長から、資料1に基づき、平成24年度の活動内容及びメダカに分譲系
統数、分譲クローン数、分譲孵化酵素数、寄託数について報告があった。続いて、亀
井オブザーバーから TILLING ライブラリーのスクリーニング系についての補足説明
があった。

・理化学研究所（サブ機関）、宮崎大学（サブ機関）

成瀬副委員長から、資料2に基づき、平成24年度の活動内容について報告があっ
た。

・新潟大学（サブ機関）

酒泉委員から、資料3に基づき、平成24年度の活動内容について報告があった。
続いて、佐藤オブザーバーから活動内容についての補足説明があった。

2 第3期NBRP平成25年度活動予定について

・基礎生物学研究所（中核機関）

成瀬副委員長から、資料4に基づき、平成25年度の活動計画について報告があっ
た。

・理化学研究所（サブ機関）、宮崎大学（サブ機関）

成瀬副委員長から、資料5に基づき、平成25年度の活動計画について報告があっ
た。

・新潟大学（サブ機関）

酒泉委員から、平成25年度の活動計画について報告があった。

- 3 魚類における動物実験申請書の提出と審査について
成瀬副委員長から、魚類における動物実験申請書の提出と審査の必要性について報告があった後、意見交換を行った。
- 4 Nature, Science 等の雑誌における MTA 提出について
成瀬副委員長から、Nature, Science 等の雑誌への投稿に際して、MTA の提出が求められることがあること、これらの雑誌ではリソース供託者が MTA 上の記載によって無条件に著者になることを排除していることについて報告があった。
続いて、近藤委員から、提供したリソースを使った研究成果の論文発表に関して、提供する際に締結した MTA に、「論文発表をする際、最初の論文についてはリソース開発の代表者を共著者とする」旨の記載があるが、それによりリソース開発者への連絡なしに、共著者として名前が挙げられていた例について、経緯の説明があった。MTA の記載内容において、開発者の発想への学術的な評価と尽力への敬意を促すとともに、各雑誌への投稿への足枷にならぬよう、上記の記載内容を原則等に緩和してはどうかという修正提案があり、検討の上、修正することとした。
- 5 「ナショナルバイオリソースプロジェクト (NBRP) 基盤技術整備プログラム」課題名：生殖細胞の凍結保存と借り腹生産による系統の回復に関する技術開発採択について
成瀬副委員長から、資料 7 に基づき、標記課題について、平成 24 年度から東京海洋大学を代表機関とし、分担機関として基生研が採択された旨の説明があり、続いて、平成 24 年度における活動内容について報告があった。
- 6 新潟大学における実費徴収制度設定の進捗状況について
酒泉委員から、新潟大学における実費徴収制度を現在構築中である旨の報告があった。
続いて、渡邊係長（新潟大学）から、今年度中の実費徴収開始に向けて、関係規程、料金表の作成を進めているとの報告があった。
- 7 その他
 - ・大学連携バイオバックアッププロジェクトについて
成瀬副委員長から、大学連携バイオバックアッププロジェクトのパンフレットに基づき、概要説明があった。
 - ・NBRP 事務局の活動状況について
NBRP 事務局から、平成 24 年度の活動状況について報告があった。

以 上